

見直しの視点 ② 老朽化した施設への対策

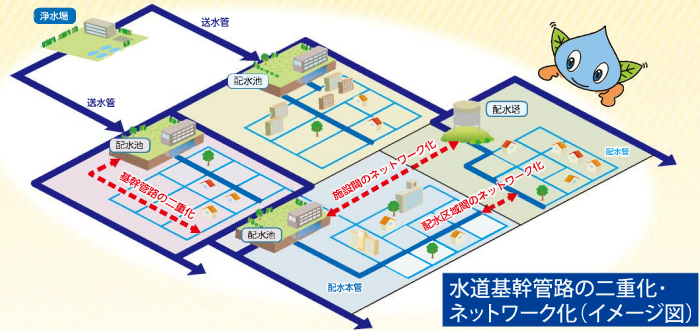
老朽化した施設の計画的な更新に合わせた新たな整備を推進します。特に工業用水道事業については、将来の需要動向を考慮し、適正規模での更新を実施します。

主な取組 水道基幹管路の強化

中期計画期間(令和4～7年度)の取組内容

- 基幹管路の漏水事故・維持管理等による断水リスクの軽減への対応として、施設間(配水池・配水塔)を結ぶ連絡管などの整備に加え、今後の管路更新に向けた、基幹管路の二重化・配水区域間を結ぶネットワーク化の取組を更に進めます。

基幹管路の更新工事では、給水量や水圧の低下、機能停止等の影響が大きく、予めこれを補う管路整備等が必要になるため、基幹管路の二重化・ネットワーク化を進め、維持管理上の機能強化を図ります。また、災害対策や事故対応により、個別の機能停止が生じた場合にも、給水を継続できるようになります。



見直しの視点 ③ 脱炭素社会の実現

脱炭素社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの有効利用、創エネルギーの導入、省エネルギー機器の採用などを行い、脱炭素社会の実現に貢献します。

主な取組 地球温暖化対策

中期計画期間(令和4～7年度)の取組内容

入江崎総合スラッジセンター1系統却炉の再構築に合わせた取組

- 廃熱発電設備を導入し、創エネルギー設備による1系統却炉のエネルギーの自立化に向けた取組を進めます。
- 濃縮・脱水工程において、濃縮脱水一体型機を導入することにより省エネ化するとともに、低含水率化も実現し、廃熱発電設備の発電効率アップに向けた取組を進めます。
- 高温焼却化と二段燃焼化により、一酸化二窒素(N₂O)排出量の削減に向けた取組を進めます。



見直しの視点 ④ デジタル化の推進

新しい日常に対応し、市民サービスの更なる向上と行政組織の効率化を推進するため、デジタルファーストの行政サービスの提供や市役所内部のデジタル化の取組を継続します。

主な取組 給水装置関連業務のオンライン化

中期計画期間(令和4～7年度)の取組内容

- お客さまからの問い合わせに対し迅速かつ正確に対応することや、適正かつ円滑な給水装置工事を確保すること、お客さまの個人情報を災害等から守ることを目的に、給水装置工事台帳を電子化します。
- 行政区管轄に捉われない窓口対応及び給水装置工事台帳情報の検索性向上による利用者の対応時間の短縮化を図るため、給水装置工事台帳管理システムを導入します。
- 新たな生活様式や非接触型社会に対応するとともに、お客さまサービスの向上を図るため、給水装置関連手続をオンライン化します。



見直しの視点 ⑤ 経営基盤の強化

厳しさを増す経営環境に対応するため、料金・使用料のあり方の検討や、適切な資金の活用・財源の確保に向けた検討など、持続可能な経営に向けた取組を実施します。

主な取組 財政基盤の強化に向けた検討

中期計画期間(令和4～7年度)の取組内容

適正な料金・使用料体系や水準のあり方の検討

- 特に工業用水道料金について、工業用水道利用者の将来の水需要を把握し、財政基盤の強化に向け、更新計画と料金制度の検討を行います。

財源の確保、資金の活用方法に関する検討

- 効果的な資金調達の方法や、累積資金の活用方法を検討します。



詳しくは上下水道局ウェブサイトに掲載していますのでご覧ください。(川崎市上下水道事業中期計画(2022～2025)) 経営戦略・危機管理室 ☎044-200-3182 044-200-3982

かわさきみずみずフェアを開催します

毎年6月1日から6月7日までの水道週間にあわせて、市民の皆様へ水道事業についての関心と理解を深めていただくために開催するイベントです。

日時 令和4年6月4日(土) 正午～15時

場所 JR武蔵溝ノ口駅南北自由通路

内容 飲料水などの備蓄啓発
第64回水道週間川崎市小・中学生作品コンクール入賞作品の展示ほか

※新型コロナウイルス感染症の状況などを踏まえ、中止とする場合があります。
サービス推進課 ☎044-200-3097 044-200-3996



災害時に備え備蓄を!



飲料水
3リットル
(1人1日あたり)



携帯トイレ
5個
(1人1日あたり)



最低3日分
できれば7日分!

